

# 中期経営計画

第4成長期の戦略

**“Accelerate the Global Business”**

2019年8月10日

株式会社ウェザーニューズ

代表取締役社長 草開 千仁

**1970年1月、福島県いわき市。**

**小名浜港を襲った爆弾低気圧により、貨物船が沈没。**

**15名の尊い命が奪われました。**

**「船乗りの命を守りたい」**

海の气象台としてスタート。



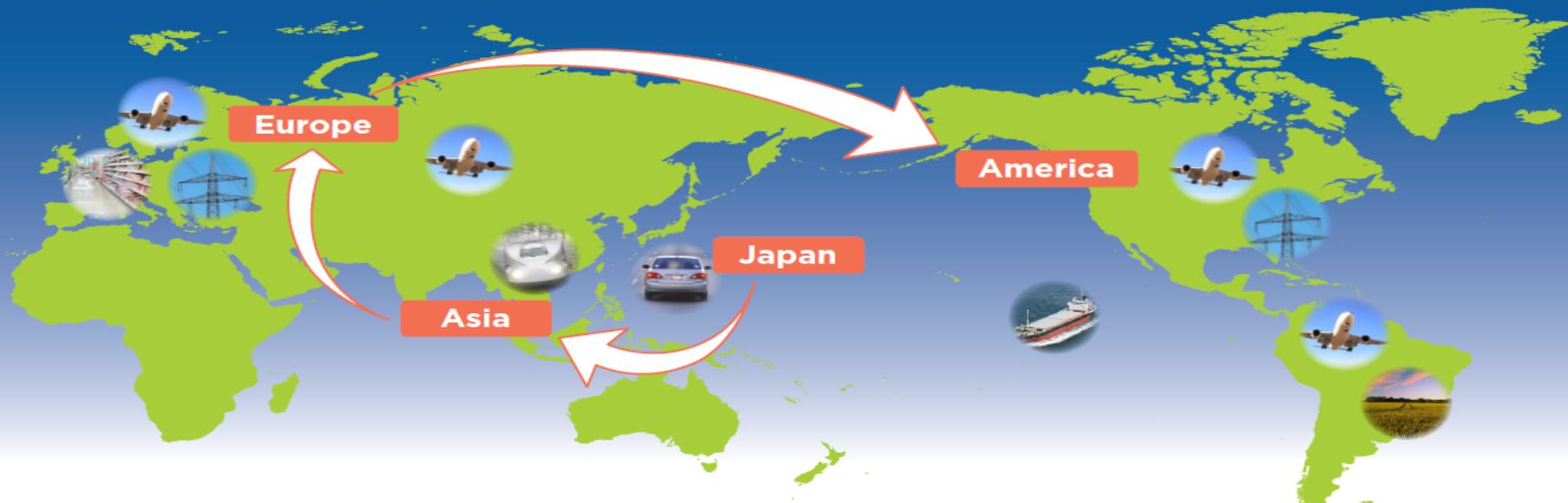
あらゆる市場へ  
リスクコミュニケーションを  
創造・展開

↑  
「いざという時、  
人の役に立ちたい」



## 第四成長期の目指す姿

# Service & Infrastructure Company with the Supporters



### データ

#### ウェザーレポート

1日 **180,000** 通

#### 独自インフラ

衛星 **2** 機  
独自津波レーダー **30** 基  
独自気象レーダー **80** 基  
⋮

#### 全世界の観測データ

約 **38,000** 地点

#### ビジネスデータ

船舶からの  
Daily Report 1日 **7,000** 通  
航空機からの  
PIREP Report 1日 **260,000** 通  
⋮

# 第四成長期の目指す姿

Service & Infrastructure Company with the Supporters



これまで

現在

これから

Stage 1

2012年6月 ▶ 2016年5月

Stage 2

2016年6月 ▶ 2019年5月

Stage 3

2019年6月 ▶ 2022年5月

第四成長期  
ビジョン

Service & Infrastructure Company with the Supporters

交通気象と Environment Weather を軸に、無常識な気象観測と感測をもとにして、Global でのマーケットを立ち上げる

WNIの  
ミッション

Full Service Weather Company

データサービスから RC など全ての気象情報に関するサービスを提供する世界最大の気象情報会社

Full Service "Weather  
& Climate" Company

スローガン

“Establish Symbolic  
Global Service”

重点事業に注力し、Global で展開する  
シンボリックなサービスメニューと Asia 販売体制

“Accelerate  
the Global Business”

交通気象の Global 展開、Global Business 加速  
に向けたビジネス・インフラ投資

Global Business  
(BtoB 50:50)

BtoB市場において  
国内・海外売上を 50:50 に

重点  
施策

ビジネス  
展開

交通気象

交通気象+環境気象

既存事業の  
継続成長による収益基盤の強化

Global 販売体制 確立

EU・US 展開の本格化

新規発展事業の創出

インフラ  
展開

ウェザーリポーターネットワーク  
Global 展開

事業展開を加速するコラボ  
基幹インフラのバージョンアップ

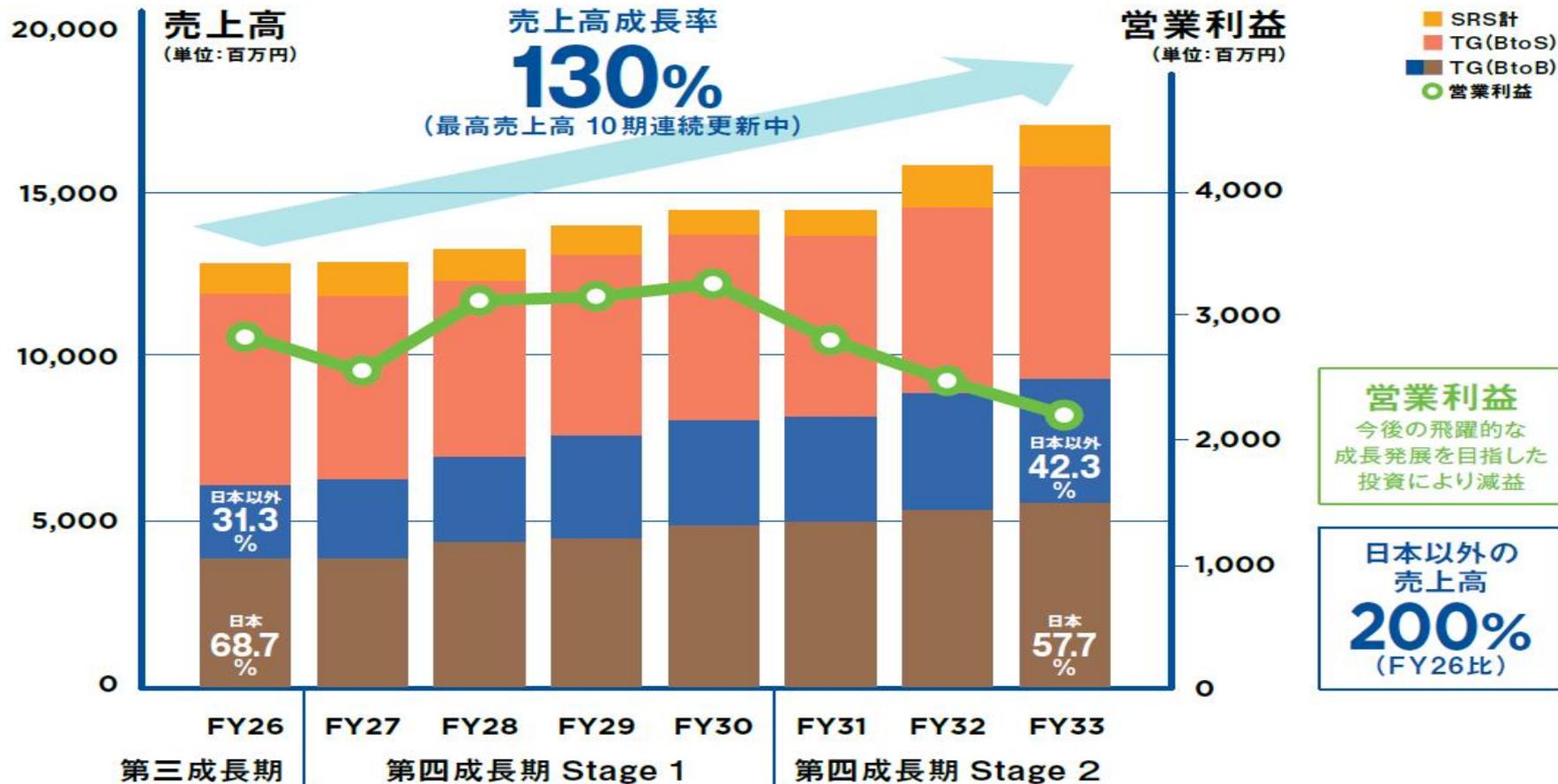
世界最高品質の予報精度・  
コンテンツ生産力の飛躍的向上

革新的な気象インフラのデザイン

革新的な気象インフラの開発

マーケットを加速する  
IT サービス基盤の整備

# 第四成長期の実績 (FY27~33)



# 現中期経営計画（FY31～33）の振り返り

	2016年5月 (FY30末)	2019年5月目標 (FY33末)	実績
ビジネス展開			
OSR隻数	<b>2,700</b> 隻	<b>6,000</b> 隻	<b>4,500</b> 隻
SKY Planning 提供顧客数	<b>33</b> 顧客	<b>63</b> 顧客	<b>58</b> 顧客
Environment Weather 展開エリア	日本	日本・EU	日本・EU
ウェザーニュース 月間ユニークユーザー (MAU)	<b>1,445</b> 万MAU	<b>2,500</b> 万MAU	<b>2,610</b> 万MAU
投資額 (3カ年)	<b>1,966</b> 百万円 (FY28～30)	<b>4,000</b> 百万円 (FY31～33)	<b>2,573</b> 百万円 (FY31～33)
総スタッフ数	<b>764</b> 人	<b>900</b> 人	<b>1,012</b> 人

第四成長期  
Stage3

## Global Business (BtoB 50:50)

BtoB市場において国内・海外売上を50:50に

### 市場展開

- 1 交通気象・環境気象のグローバル展開
- 2 予報精度No.1 & コンテンツ化による生産性向上
- 3 マーケットを後押しするクラウド展開
- 4 気候変動に対応した新規事業

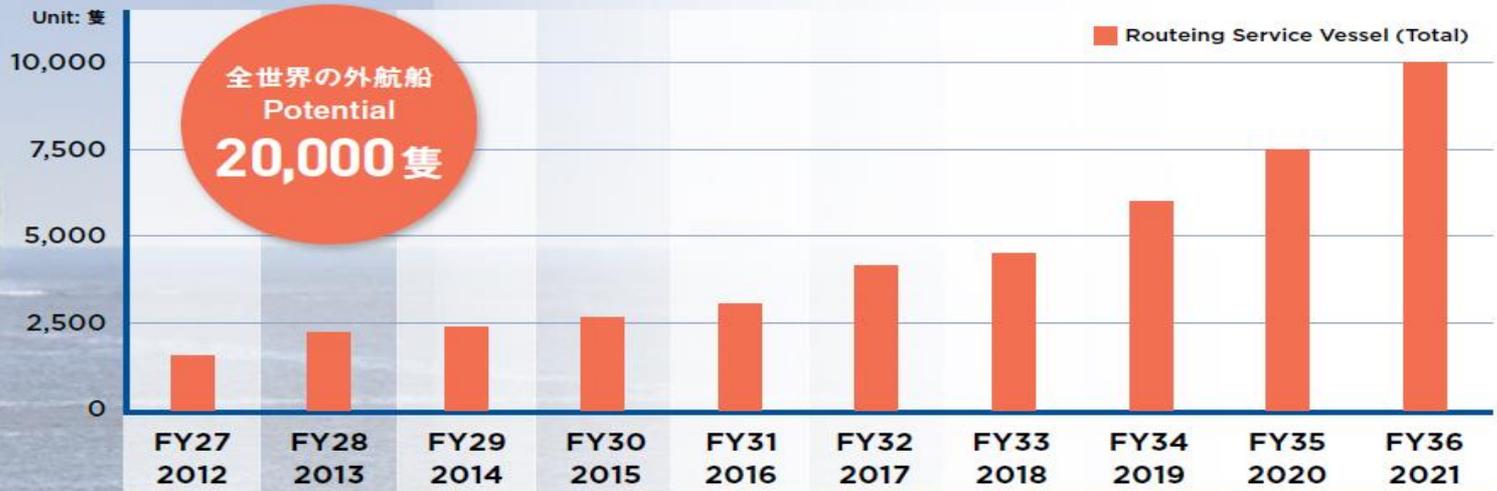
### 経営基盤

- 1 事業を通じた持続可能な社会への貢献（ESG 投資）
- 2 働きがい向上（アントレプレナーシップの活性）

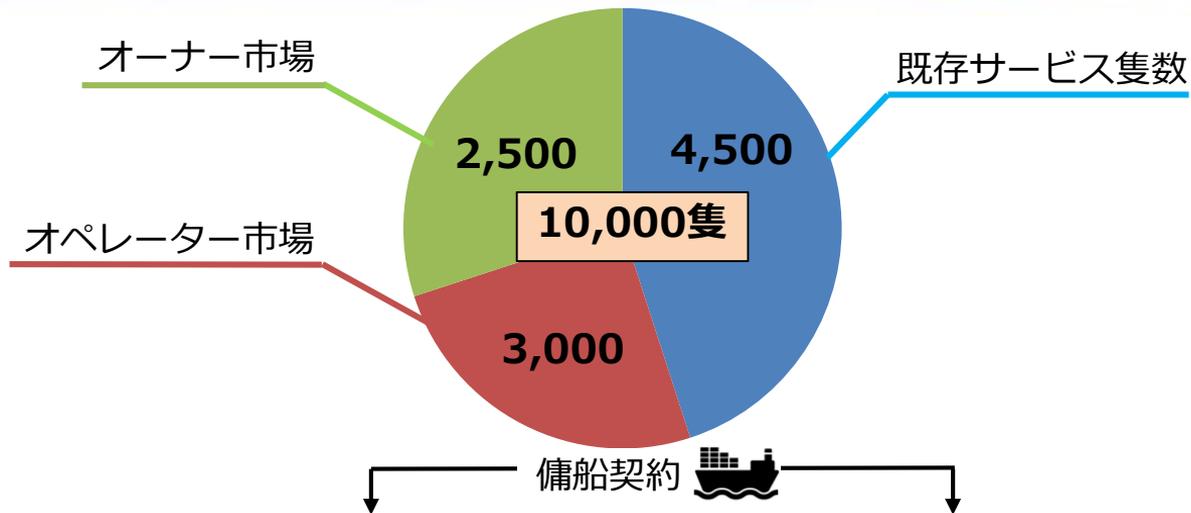
# 重点施策①：交通気象・環境気象のグローバル展開

## 気象×航海

Routeing Service 10,000 隻 (全世界の外航船のシェア 50%)



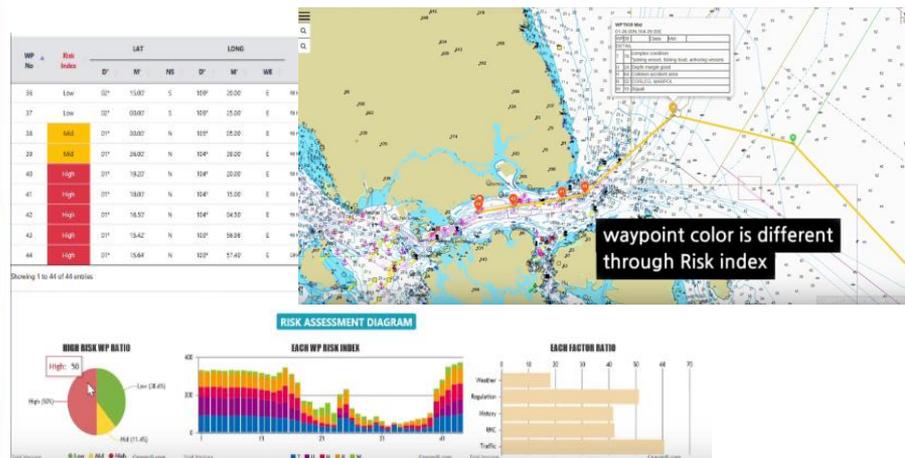
Unit: 隻	FY27 2012	FY28 2013	FY29 2014	FY30 2015	FY31 2016	FY32 2017	FY33 2018	FY34 2019	FY35 2020	FY36 2021
Routeing Service Vessel (Total)	1,600	2,200	2,315	2,700	3,020	4,100	4,500	6,000	7,500	10,000
主要サービス									Navigation Assessment & Routeing service	
									T-Max, LOOP	
									Optimum Ship Routeing (2010年～)	
主要な投資									WNI衛星	次世代運営システム (AEDYN)



	オーナー市場	オペレーター市場
基本価値	安全性	経済性
ポテンシャル	<b>30,000</b> 隻	<b>20,000</b> 隻 (一部はオーナー市場と重複)
重点エリア	主に日本・ギリシャ	グローバル(アジア・EU・日本・US)
対応サービス	<u>Navigation Assessment &amp; Routing</u> Safety Status Monitoring Emission Status Monitoring Performance Status Monitoring	Optimum Ship Routeing Safety Status Monitoring Performance Status Monitoring

オーナー市場の獲得を狙い、座礁・衝突・気象海象によるダメージリスクの対応策を提供するNAR (Navigation Assessment & Routeing) を展開

- ①外洋航海だけでなく沿岸から沿岸までのフルサポート
- ②沿岸・港湾内の気象、航行制限等のあらゆるデータ統合型コンテンツサービス
- ②本船、陸上の両方の目線を考慮したリスクアセスメントサービス



# 重点施策①：交通気象・環境気象のグローバル展開

## 気象×航空

EU/US 市場への展開（全世界の航空会社のシェア 25%）



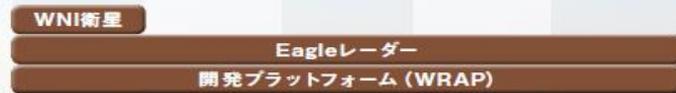
Unit: 社

航空会社数	18	20	25	32	39	47	51	57	69	80
-------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

主要サービス



主要な投資



## 4D1に伴う市場機会の拡大

航空市場において、位置情報の取得が義務化、取得支援サービスのニーズが高まる

- Flight Watchの有効性

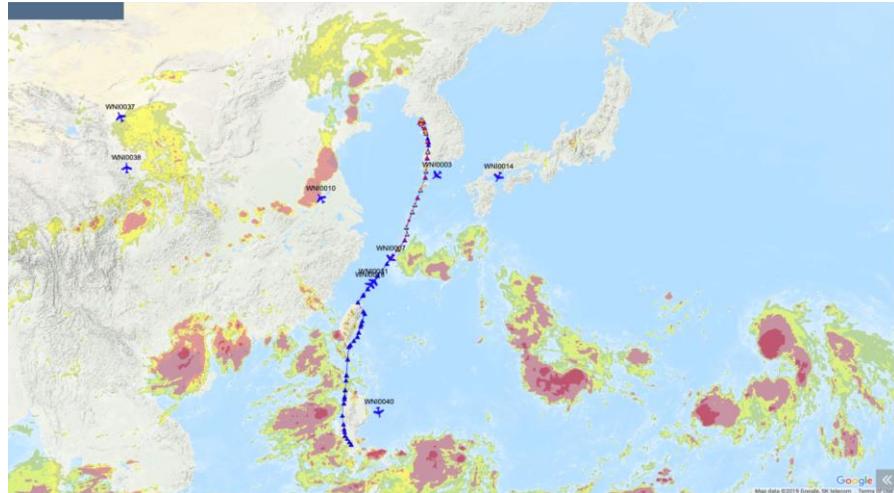
- ①位置情報の取得(1分に1回取得可能)

- ②現在位置と計画されたルートと比較し、出発地から到着地までの運航に影響を及ぼす気象現象のモニタリングなど安全飛行・計画飛行をサポートする。

ICAOによって位置情報の取得が  
再定義

2018年 15分に1回(4D15)

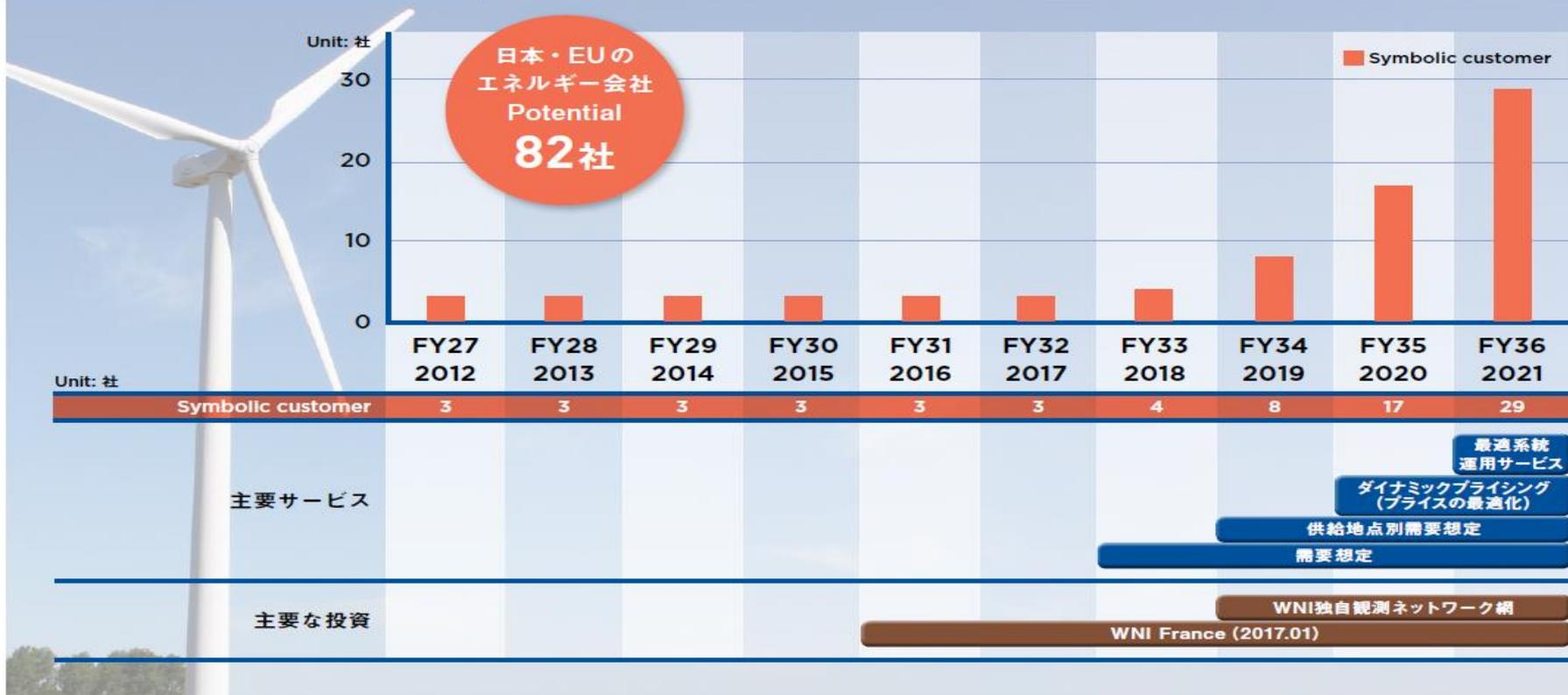
2021年 1分に1回(4D1)



# 重点施策①：交通気象・環境気象のグローバル展開

## 気象×エネルギー

## 需要予測による電力・ガス会社等のエネルギー市場展開



## 環境気象市場

- 環境から直接影響を受け、環境に直接影響を与える市場

### 【Key for Success】

- グローバルIT開発人材
- データ基幹インフラ

### エネルギー



予備力の最適化  
+  
CO2 大気放出  
最小化

### 流通・小売



商機拡大  
+  
食品廃棄  
最小化

### 農業



収穫増加  
+  
農薬散布  
最適化

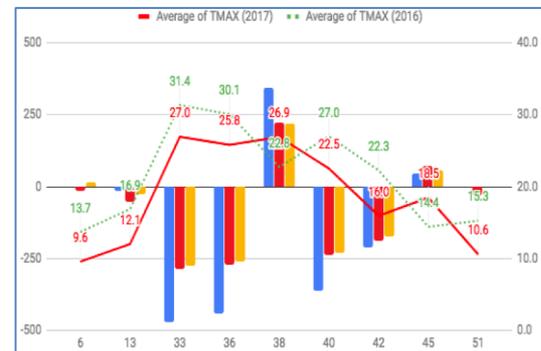
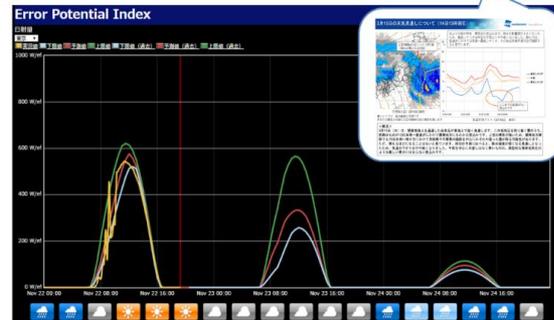
## エネルギー市場

電力自由化に伴う発送電分離が進む状況を好機と捉え、電力会社やガス会社に対して、電力需要予測や再生可能エネルギーの発電量予測サービスを提供し、エネルギーの需給バランス最適化と、環境へ配慮した脱炭素社会の実現に貢献します。

## 流通小売市場

天候変動が要因による販売機会、ポテンシャルの増加を発注担当者に知らせる商機拡大支援サービスを中心に、売上増加やコストの削減、廃棄による環境負荷を減らし持続可能な社会への実現を目指しています。

Confidence Factor (信頼指標)	Indicator	Benefit
✓	EPI (Error Potential Index) 変動指標	: 予測の上下幅をご提供
✓	GWD (Guaranteed Weather Day) 気象担保日	: 予測精度の高い日をご提供
✓	3PI (3 Peaks Index) 3大波指標	: 特異日へのサポートを実施



## 気象×個人サポーター

日本で No.1 の気象コンテンツプラットフォームの実現



Unit: 万人

ウェザーニュースの月間利用者数(MAU)	2,166	1,831	1,510	1,445	1,223	1,756	2,610	2,950	3,295	3,795
----------------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

主要サービス

ウェザーニュース\*

Small b

広告ビジネス

主要な投資

広告投資

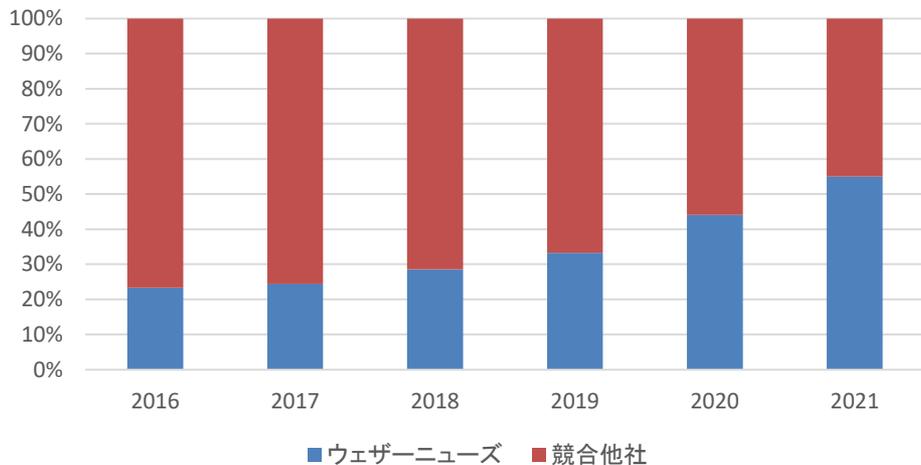
\* 弊社がサービスしている「ウェザーニュース」のアプリ、スマートフォンブラウザ、PC、フィーチャーフォンのブラウザベース、または端末ベースにより集計した訪問者数



## Weathernewsの強み (Advantage)

- ✓ 気象専門会社であるブランド Strong wx company brand
- ✓ 全プラットフォームに対応が可能 Trans platform operation
- ✓ 沢山のサポーターが参加 Supporter driven content

Google Trendsによる認知度



### ウェザーニュースがコンテンツ展開しているメディア

- | ニュース系      | 動画系       | SNS系        |
|------------|-----------|-------------|
| SmartNews  | YouTube   | Twitter     |
| Gunosy     | LINE LIVE | Facebook    |
| Yahoo!ニュース | ニコ生       | Instagram   |
| LINE NEWS  | FRESH!    | LINE        |
| auニュースパス   | キャリア系     | アプリストア      |
| dmenu      | スゴ得コンテンツ  | Google Play |
| auサービスTOP  | auスマートパス  | AppStore    |

## 33期より本格展開を開始した広告ビジネスも順調に成長予定

- ネットワーク広告      アプリを始めとするWNIのメディアに広告を表示
- コラボ広告              特定の広告主とコラボした、企画型広告（家電×気温、医薬品×花粉など）
- ニュース広告            Twitter, Yahoo, LINE等のプラットフォームに広告を表示
- 動画広告                 自社のライブ放送、外部へのパッケージ動画配信



# 重点施策②：世界最高品質の予報精度の追求

世界最大規模の気象/気候Database および独自 AI 解析により世界 No.1 の予報精度の実現



# 重点施策②：コンテンツ生産力の飛躍的向上

新たな基幹 Database・開発 Platform および独自 AI 技術を用いたコンテンツ生産力の向上

## 予報

予測値の生成



予報技術者による  
修正



機械学習・AIによる  
自動修正

 生産力UP!!

各市場向け予測値生成の  
生産力・キャパシティUP

## Risk Communication

リスクコミュニケーション/ブリーフィング



人による  
会話



AI  
コミュニケーション

モニタリング



人による  
監視



AI  
モニタリング

 生産力UP!!

コンテンツパッケージ & デリバリー



人による  
生成



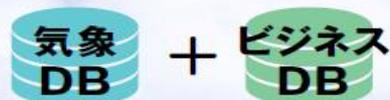
AI  
パッケージ

 生産力UP!!

Risk Communicationの  
生産力・キャパシティUP

## 重点施策 ③：マーケットを加速するITサービス基盤の整備

世界最大の気象データベースを活用した、気象リスク分析によるサービス構築・展開を迅速に実施できる Cloud を活用した IT サービス基盤を構築する。



### Cloud Solution (Weather as a Service)



Government, Business, small b, Consumer ... etc

**全世界、76億人へのサービス**

自然災害による経済損失の増加

ESGへの関心の高まり



気象リスクへの対応策だけでなく  
極端気象・気候変動への  
適応策も重要

現在

Full Service  
Weather Company

顧客

気象による  
事業運営リスク  
[Operational Risk]



WNI

Risk  
Communication  
Service  
対応策情報

今後

Full Service  
"Weather & Climate" Company

気象による  
事業運営リスク  
[Operational Risk]

気象・気候変動による  
事業構造リスク  
[Structural Risk]



Weather &  
Climate  
Risk Analysis

リスク評価

Risk Adaptation  
Service  
対応策・適応策情報

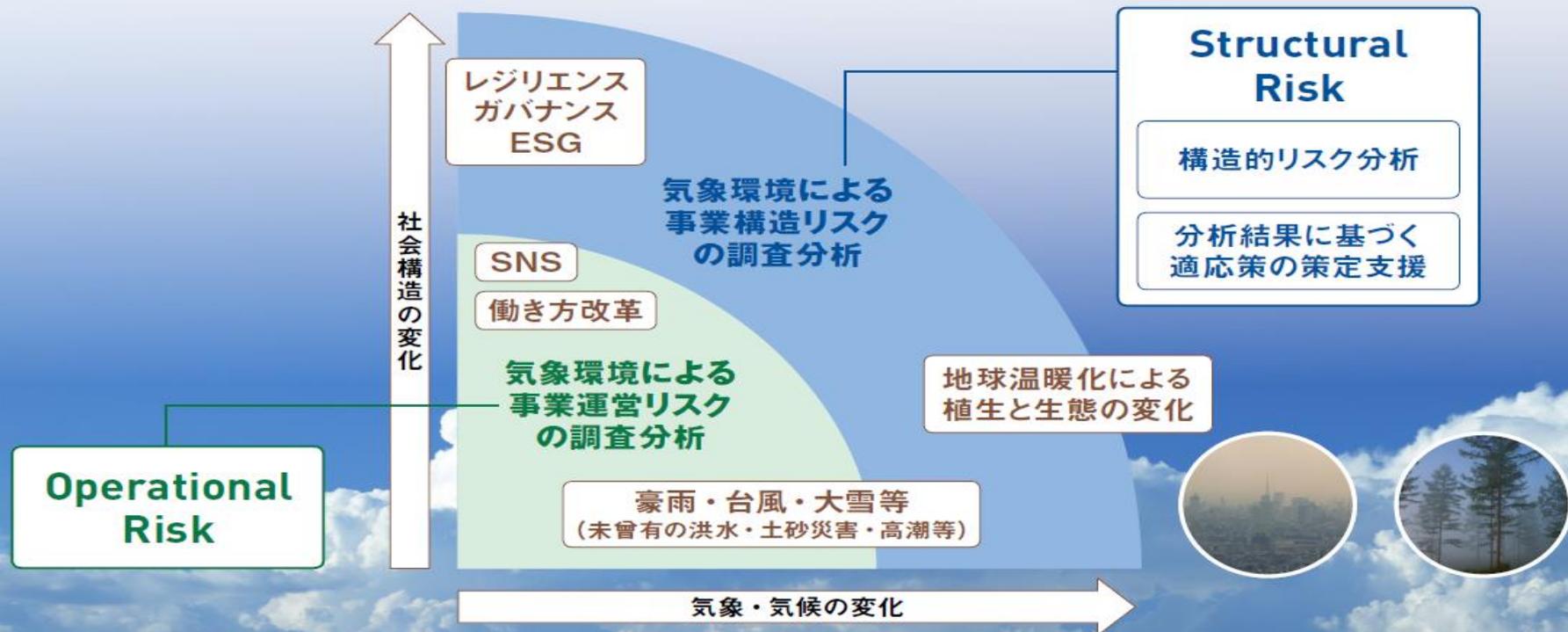
影響評価

Business Continuity  
Management Support

リスクヘッジ

## 重点施策④：新規発展事業の創出

- 1) Weather & Climate Risk Analysis: 市場におけるビジネスリスクの調査と詳細分析
- 2) Structural Risk: 極端気象や気候変動によるビジネスリスクに適応するための支援サービス創造



# 業績目標

単位：百万円		Stage 2			Stage 3		
		FY31	FY32	FY33	FY34	FY35	FY36
		2017.5 期	2018.5 期	2019.5 期	2020.5 期	2021.5 期	2022.5 期
為替レート(円)		108	110	110	110	110	110
売上高		14,542	15,874	17,052	18,300	19,700	21,200
TG	B to B	8,288	8,947	9,365	10,100	10,800	11,500
	B to S	5,462	5,737	6,454	6,900	7,700	8,500
SRS		790	1,188	1,232	1,300	1,200	1,200
営業利益		2,824	2,490	2,045	2,100	2,400	3,100
営業利益率		19.4%	15.7%	12.0%	11.5%	12.2%	14.6%
経常利益		2,825	2,495	1,930	2,100	2,400	3,100
当期純利益		1,965	1,138	1,370	1,500	1,700	2,200
ROE		15.0%	8.4%	10.0%	10.7%	11.7%	14.3%
配当性向		55.4%	95.7%	79.6%	72.7%	64.1%	49.5%
設備投資		684	1,029	859	600	600	600
研究開発費		354	477	608	800	600	600



# E

## Environment

- 気候変動に応じたお客様との取組事例（環境運航）
- 気候変動に影響を与える気象・環境情報の開示（日射量 etc）

# S

## Social

- アントレプレナーシップを活性する働き方のデザイン（サテライトオフィス・副業制度 etc）

# G

## Governance

- ガバナンス体制の強化
- 情報開示の充実

## 配当方針

基本方針 | 高貢献、高収益、高分配の考えのもと配当利回りを見つつ、  
100円をベースとし、配当性向50%を目安に配当方針を決定

### 経営理念

「高貢献・高収益・高分配」

### 配当方針

年間配当：100円

中間配当：50円

期末配当：50円



